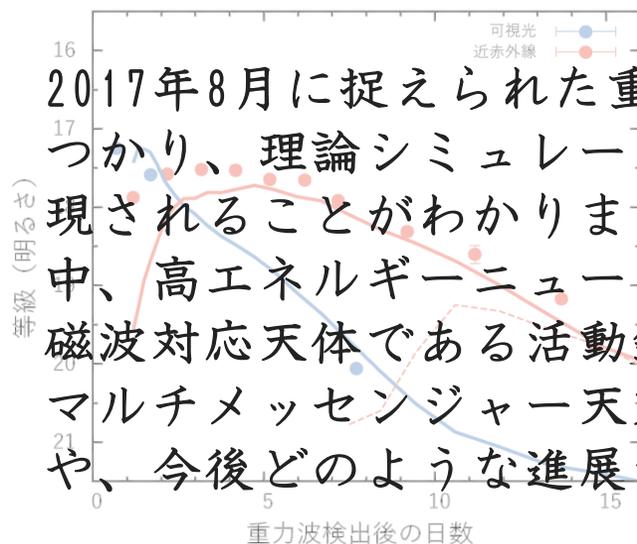


岡山大学 物理談話会

日時：2020年12月3日（木） 12：00－13：00

場所：理学部 コラボレーション棟3Fコラボレーション室

講師：広島大学 川端 弘治 教授

タイトル：「マルチメッセンジャー天文学の時代へ：
重力波源・ニュートリノ源を捉えよう」

2017年8月に捉えられた重力波イベントGW170817 において、初めて電磁波対応天体が見
つかり、理論シミュレーションで予測されていた中性子星同士の合体で観測がうまく再
現されることがわかりました。また、その約1か月後、GW170817がまだ部外秘であった最
中、高エネルギーニュートリノイベント IceCube-170922A が検出され、まもなくその電
磁波対応天体である活動銀河核 TXS0506+056 が見出されました。本談話会では、これら
マルチメッセンジャー天文学の勃興に対して国内のチームがいかなる貢献を果たしたか
や、今後どのような進展が期待されるかについて紹介したいと思います。↑TXS 0506+056